

編集・企画

八幡平ふるさと会 広報委員会

〒120-0024

東京都足立区千住閑屋町17-15-1-1412

TEL/FAX 03-3870-7760



第4回ふるさと会の集いの風景

雪が溶けて木々の若芽が吹き出す頃、白い「コブシ」の花が咲き始める。この時期になると何故か望郷の想いがこみ上げてきます。
私達のふるさと八幡平市には、明瞭風雑な自然が溢れています。眼前の山々、星が流れる山並み、緑なす川辺、田畑に香る実りの秋等々、並べ上げたらきりのない数々の記

憶が哀愁を供い湧き出てきます。ふるさとを偲ぶとき若き頃の自分に想いを馳せるものです。
16歳の春、中卒と共に就職で上京した友に手紙を書き、上野の西郷さんの銅像の下に4名が集まりました。懐かしさのあまり手を握り抱き合いました。その時の汚くキズだらけの手の温もりが今でも脳裏に焼き付いています。
時は昭和35年1月2日のことでした。金もなく貧しい少年の一人は、お互いの日々や悩みを語り合い、上野から皇居まで天皇陛下を仰ぐべしと歩を進めました。人込みの中に君もいた、私もいた、青春の思い出。皆さんにも同じようなほろ苦い思い出があるこ

とでしよう。
友と語らう故郷のこと、あの頃のこと、今のこと。私にとって「八幡平ふるさと会」は命となっています。そして皆さんも同じ想いを持っています。確信しています。



第4回 八幡平ふるさと会

岩手山（いわてやま）
幾多の時の語り人
未来を指すや
冠の雲流（くも）！
（こうじ）
私達のふるさと会には、八幡平市のご理解とご協力に併せ、地元芸能団の出演や地元企業からの協賛品福引など、他に類を見ない企画で皆さんをお招き致しております。
今回は「八幡平さくらさんさ愛好会」の皆さんが来てくれます。
踊り子歓迎！皆さん是非踊りに来て下さい。

第4回ふるさと会で「浅沢神楽」熱演



第5回

八幡平ふるさと会の集い

◆みんなの癒しの場◆

5月29日（日）、日暮里駅南口の「ホテルラングウッド」にて、八幡平ふるさと会5周年記念総会、平成23年度の「八幡平ふるさと会の集い」を開催いたします。
今年も盛りだくさんの企画で皆さんをお待ちしております。ふるさととの仲間と楽しいひとときを過ごしましょう！

◆ふるさとへの友に逢える日◆

総会実行委員長 村上 幸司

八幡平ふるさと会5周年記念総会 「第5回八幡平ふるさと会」の集い

日時：平成23年 5月29日（日）
午前11時00分～
（受付：午前10時30分～）
場所：ホテルラングウッド「飛翔の間」
東京都荒川区東日暮里5-50-5
電話 03-3803-1234
会費：9,000円
（子ども同伴者は12,000円）



◆JR 山手線、京浜東北線、常磐線/日暮里南口徒歩1分
◆京成線、舎人ライナー/日暮里駅徒歩3分

◆新会長に田村啓造氏選出

平成22年10月、工藤修会長より体調不良の理由により辞任届が提出され、23年1月の役員会にて田村啓造氏が新会長に選出されました。

会長 田村 啓造

会員の皆様、ご健勝のこととお喜び申し上げます。この度、工藤会長より引き継ぎ会長に就任致しました、西根平館地区出身の「田村啓造」と申します。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

今年、ふるさと会結成5周年を迎え「故郷を想う」気持ちが高揚し、集いも年々盛大になっております。今年も田村市長を先頭に、市の関係者、又、郷土芸能は旧松尾地区の「八幡平さくらさんさ愛好会」の皆さんが出席される予定です。

会員の皆様には、お誘い活動を強力に進めて戴き、多数の参加者をお願い致しますと共に、工藤会長と同様に、ふるさと会と私に皆様様の絶大なるご指導、御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

「八幡平ふるさと会」総会・集いに向けて

八幡平さくらさんさ愛好会をご紹介します！

旧松尾村にて活動していたさんさ踊りの愛好者が集まり、松尾さんさとして盛岡さんさ踊りパレードに出場していましたが、合併を機に名称を「八幡平さくらさんさ愛好会」とし、市内外を問わず参加希望者を集めて、毎年150名ほどで盛岡さんさ踊りパレードに出場しています。また、愛好会の核となるメンバー10数名にて、市内イベントのほか特養施設の慰問などでさんさ踊りを披露しています。

ふるさと会では披露後、会場の皆さまにも参加していただき「輪踊り」を楽しんで頂きたいと考えております。

さんさ踊り披露



毎年8月に行われる盛岡さんさ踊りパレード

《八幡平市へ寄付金贈呈》

昨年のふるさと会で、皆さまからいただきました寄付金、156,000円を八幡平市の子育て支援の一助に基金として活用して頂きました。

ふるさと青少年育成基金として、今年も引き続き募金をよろしくお願い致します。

八幡平ふるさと会誕生

工藤修

平成17年9月1日、西根、安代、松尾が合併し八幡平市が誕生、10月の市長選で同窓生（盛岡工業）の田村正彦市長が当選され、早速当時の安代の小野沢会長とお祝いに市役所訪問席上ふるさと会合併の要望があり、松尾の高橋会長と3人で準備委員会を立ち上げる事で一致。以降数回会合し19年八幡平ふるさと会を立ち上げる事になり現在まで第4回開催、毎回200名以上の参加があり盛大に行う事ができました。発足以来会長として4年、皆様のご協力で無事努めることができました。この度会長を辞任する事に致しましたが会の今後の発展を祈ります。

八幡平市平笠裸踊りに参加して

林 芳子



平成23年1月8日に行われた八幡平市指定無形民俗文化財の「平笠裸参り」に参加し、大雪で厳しい冷え込みの中、約10キロの道のりを歩いてきました。

参加者は女性16人を含む小学生から大人まで29人。保存会会長宅で出発の神事と岩手山神社の祝詞を歌い、一連の神事が終り平笠宮田神社へ。そこで神官のお祓いを受け、市長の挨拶を頂き出発。氏子を一軒一軒練り歩き、約5時間かけて大更の八坂神社迄行きました。先頭は裸参り保存会会長、神官、幟、お賽銭、お供え、お神酒、験竿と鈴を持った女性たちです。上半身裸の男性4名と白装束に身を包み、腰巻を巻き白足袋に藁草履姿で、口から悪霊が入らないよう口紙をくわえ、験竿（けんざお）を掲げ、氏子の前で横一列になり伝令者が「○○さん

のお宅に無病息災、家内安全、五穀豊穡、交通安全、拝礼」で鈴を鳴らして頭を下げて祈ります。

平笠裸参りは、1710年代の岩手山噴火時に安穩を祈ったのが始まりと伝えられています。戦

時中に出征した夫や家族に代わり、女性を中心に行われるようになったそうです。

私が参加するきっかけは10年前に平笠裸参り保存会の役員である叔父（伊藤嘉志男）の誘いでした。参加者が減り高齢化で存続に危機感を募らせていたとき、私が冗談で参加を口に。実際は裸参りを見た事もなく軽い気持ちでした。しかし、有線放送で「東京の看護師さんが参加する」と毎日流していると聞き、後に引き下がれなくなり、同僚5人で参加したのが始まりです。初めて参加した時は左拇指が凍傷になり抜爪して大変痛い思いをしました。開催日が決められているため毎年参加は難しく、今年は6回目の参加でしたがこれから先何回参加できるか楽しみです。

今年、難病の長男の就職が決まり病氣と共存しながら自立できるように。そしてこれ以上悪くならないように！！私は今年還暦を迎え無事に仕事が続けられたことに感謝し、これからも楽しい人生が送れるように祈っています。



岩手日報 2011年1月9日掲載
(2番目が林さんです)

郷土のダイジェスト

《秋の味覚と紅葉に大満足》

「八幡平山賊まつり」が10月9日から11日までの3日間、さくら公園イベント広場で開かれました。

会場では、岩鷲護神ハチマンタイラーとレーツェルのコラボレーションや南部馬方節全国大会、八幡平杜仲茶ポークホットドッグ早食い競争などのステージイベントをはじめ、八幡平市や友好都市の宮古市、沖縄県名護市の特産品コーナー、ニジマスつかみ取り大会など盛りだくさんの内容。3日間で訪れた3万6,000人の観光客は、市の魅力を存分に楽しめました。



《市の特産品の数々を堪能》

「八幡平ワインと郷土の食を楽しむ夕べ」が11月6日、岩手山焼走り国際交流村で開かれました。

市民など160人が参加。市産業振興株式会社社長の田村正彦市長は「地元で消費してもらって初めて他で売れる。消費拡大に努めたい」と挨拶しました。



八幡平市産のヤマブドウワインのほか、杜仲茶ポーク、ニジマスなどの地元食材が並び、参加者はジャズの演奏を聞きながら郷土の大地が生んだ恵みを味わいました。

《雪かき助っ人ただ今参上》

安代地区スノーバスターズ活動開始

ひとり暮らしの老人などが冬期間に安心して過ごせるよう、家のまわりの除雪を行う安代地区スノーバスターズの活動出発式は1月9日、安代福祉センターで行われ、今シーズンの活動を開始しました。この日は、安代中学校の先生、生徒を含む54人と隊員数20人が参加。

3つの班に分かれ、雪かきに汗を流しました。スノーバスターズは、3月までの毎週日曜日に出勤し、地区内27世帯の除雪作業に取り組みます。



《歌に新たな命で吹き込む》

CD作成に向けて八幡平市民歌を録音

2月4日、県民会館ホールで、八幡平市民歌CDを作成するための録音が行われました。

録音には作曲と編曲を手がけた林芳輝さん（作曲家、岩手大学名誉教授）が立ち会い、声楽家の佐々木正利さん（岩手大学教授）や、鎌田滋子さん（県立大学准教授）による独唱各1曲のほか、岩手大学合唱団35人による混声合唱2曲が録音されました。



八幡平ふるさと会によせて



八幡平市長
田村 正彦

八幡平ふるさと会が今年で誕生から5年目を迎えられることに心よりお祝い申し上げます。

平成18年に旧町村単位であったそれぞれのふるさと会を統合して今日まで活動を続けられて

いることは、ひとえに工藤前会長、田村会長はじめ役員の皆様のご尽力の賜ものであると深く感謝申し上げます。また、八幡平ふるさと会が岩手県内の出身者による親睦会としては最大の参加人数であることは私たちの誇りであり、これだけ多くの皆様が本市を思い、応援して下さいていることはどんなに心強い計り知れません。

さて、本市は今年で合併6年目を迎えました。私たちが住み、暮らす「地方」を取り巻く環境は厳

しさを増しておりますが、市の将来像である「農と輝の大地」の創造に向け、これまでの取り組みを踏まえて、人口減少に対応するための「定住化の促進」、小規模農家を中心とした「第一次産業の生産力向上」、市の玄関口である「大更駅周辺の賑わい創出」、通過型から「滞在型の観光の推進」、これまでのスポーツだけでなく芸術・文化活動にも対応した総合的な「合宿の里づくり」の五つのテーマのもと、市民のニーズに応えるため施策の展開を図っております。

また、安代リンドウや、八幡平

牛、ほうれん草、山ぶどうと言った八幡平ブランドの農産物や特産品につきましても、これまで同様に力を入れ、首都圏の皆様にもご利用しやすいようなシステムを作り出すので、ぜひ八幡平産の安心安全な農産物・商品を利用してくださいと思います。

さらに、本年度より八幡平市のファンクラブ「八幡平プレミアム八（エイト）」を展開します。これは、市内でお買い物や宿泊施設で利用できる特典の付与や定期的に本市の特産品をお届けするような内容となっておりますので、ふるさと会の皆様をはじめと

する八幡平市を愛する方々にご利用いただきたいと考えております。

最後になりますが、本年1月後退任された工藤前会長におかれましては、公私共にお忙しいなか5年間にわたり会長としての重責を担っていただき、ふるさと会をまとめて下さったこと衷心より感謝申し上げますとともに、ふるさと会におかれましては、田村新会長のもと、益々ご発展されますことと会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

4

◇年始め寡男寡女が球を打つ死別の悲しみ乗り越えてきて
◇初打ちや男女合はせて50人いざ始めようグラウンドゴルフ
◇幼くて母の記憶のなき吾は亡妻恋ひのみに生きて老いゆく

家内が亡くなって八年。グラウンドゴルフと出会って七年。囲碁、短歌、そしてドラッグの多趣味。50歳の時免許を得、一日で一番遠乗りしたのは伊勢神宮まで。朝五時に出て、夜八時に帰った。そして翌日は普通に勤務。だから相当好きと言えるのかもしれない。囲碁は年間200局を軽く越しているのだから、これも相当氣違いじみている。一日に10局打つこともある。短歌は日に3度の食事と同じくらい好きなのだ。月に20首くらいは作る。下手の横好き。

さてグラウンドゴルフ。何故こんなに魅力的なスポーツなのか。家内を亡くして傷心の時、知人に誘われてやってみたらすっかり嵌まってしまいい、以来一日おきにやっている。そして沢山の仲間と出会い、どんなに慰められ、元気づけられ、癒されたことか。全国大会、都の大会、産経新聞主催のあちこちである大会に殆んど参加。晴れた日は富士山をバックに、手入れの行き届いた芝生のゴルフ場で打つ時等最高の喜びと幸福感に

浸る。二、三年前など郭公が鳴き、ホトトギスまで鳴いてくれた。球を打つのを忘れてうっとりする瞬間である。スコアカードの裏にメモ風に短歌を書き込む時でもある。妻があの世で待っているが暫くは此の世で日々の楽しみを満喫しようと思う。
◇「待ってるよ」「待っていていよ」と言ひ交わして妻逝きし八年経ちぬ

かたえく思



娘の家族が飼っていたハムスターが死んでしまった。名前を「ラブ」と呼んで可愛がっていた五つになる孫娘がかなり悲しみ、僧である婿が一案を考え、庭の片隅に厚く葬り、短いお経を称えて「これでラブは天国に行くから大丈夫」と慰めてやった。それから数日後、孫が「ラブはどうなったかな」と言ったので「もう天国にきつと行ってるよ」と返答。すると孫が「行ったかどうか掘ってみようか?」
親が何と答えたかは私は聞いていない。(K.Y.)

ふるさと大使になって

六本木 三保子



昨年3月、18名の「ふるさと大使」の一人としてお役を頂戴したのですが、「さて何をするか?」となるとただのおばさんとしてはいかにせんともしがたいものがあります。ともかく頂いた名刺をご近所、友人、職場にと配りました。

さて、この名刺、差出人が何も言わなくても「ふるさと大使?」「八幡平市って素敵なことをするのよね」と第一声。そして三つ折りの名刺を開いて「アラ~すてき、行ってみたい!」と更にテンションアップ。これだけで八幡平市を半分以上は知ってもらえたと思います。これに経済効果が伴えば満点というところでしょうか。観光も大事。でも丹精こめて作った農産物、ほうれんそうやそば、山ぶどう、りんどう、そして鷺の尾も八幡平市の顔です。今年は友人に旬の味を買ってもらえる方法はないものかと思案中です。友人は「私のふるさととはこんなことしてないものね」「八幡平市ってすごいよね」と羨ましがります。

ふるさと、八幡平市を大いに宣伝し、少しでもふるさとのお役に立てたら幸せです。

- ◆八幡平ふるさとゴルフの会 ●連絡先
期日: 8月15日(月) 八幡平ふるさとゴルフの会
場所: 岩手県・安比高原GC
- ◆岩手県人連合会ゴルフ大会 ●責任者
期日: 10月5日(水) 小野沢 栄治
場所: 千葉県・紫あやめコース TEL・FAX 03-3870-7760
携帯電話 090-1540-5856

被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

3月11日の大震災当日、釜石にいた八幡平ふるさと会広報委員の伊藤氏から「現地報告」がありました。



被災前の釜石港

現地報告

平成23年3月17日
ムゲンシステム株式会社 伊藤 彰

今般の東日本震災で犠牲になった方々のご冥福をお祈り申し上げます。又、住む家や事業所等築き上げた数々の財産を失われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。ご心配頂き、声を掛けて頂いた皆様、厚く御礼申し上げます。

弊社工場も釜石湾口にありましたので被災しました。私自身も九死に一生を得て、避難所で3日間過ごしました。14日撤収して、娘の嫁先葛巻町で新幹線の復旧を待ちましたが、見通しが立たないので、15日夕方のトラック便に便乗して、16日午前に帰京しました。

未来の日本を如何に作るかを問われているのであり、東京を震災の後復興させた後藤新平に学び、子孫



のためにも挫ける訳には行きません。今後も多くの苦難が待ち受けていると思いますが、負けることなく力を合わせて乗り越えていきましょう。

③3月の大震災の影響で「さくらさんさ愛好会」の皆さんの出演が危ぶまれています。早めに出演が決定し、会報でお知らせできることを嬉しく思っていたのですが、緊急事態につき決定までには今しばらく結論が出せない状況とのこと、会員の皆様にはご理解のほどよろしくお願ひ申し上げます。